

松本貴弘博士、ノーベル物理学賞受賞!



授賞式終了後、ドイツの物理学者ツァイス博士と議論する松本博士。

ストックホルム発—スウェーデン王立科学アカデミーは11日、1960年のノーベル物理学賞を日本の理論物理学者・松本貴弘博士(京都高等脳科学研究機構所長)に授与すると発表した。博士は、長年にわたり科学と哲学の間に横たわっていた「意識とは何か」という根源的問いに対し、独自の数理理論と実証研究によって物理的な説明を与えた功績が高く評価された。

アカデミーからの発表によると、松本博士が提唱した「共鳴的自己参照場理論(R-SET: Resonant Self-referential Field Theory)」は、従来の脳科学や意識研究では説明できなかった「主観的体験」の成立メカニズムを、量子場理論と情報物理学の融合によって初めて明確にモデル化したものだ。博士の理論によれば、意識とは脳内の情報構造が物理場内で自己参照的に共鳴を起こす現象であり、この過程は数式で記述可能な「非可逆的対称性破れ」によって生じるとする。

1897年、兵庫県神戸市に生まれた松本博士は、大東大学理学部を卒業後、同大学院で理論物理学を学び、初期には量子重力理論の研究に従事していた。しかし30代に入り、「物理学はなぜ観測する主体を扱わないのか」という疑問に取り憑かれ、物理学と意識の融合という異端のテーマに足を踏み入れる。1940年、独立研究所「意識物理学研究センター(IPC)」を設立。以来20年にわたり一貫して、意識の本質に迫る理論と実験の両輪で研究を重ねてきた。

松本博士の理論は当初、学界の主流からは冷遇されていたが、1950年の論文「情報的時空構造と主観場の生成」により一躍注目を集める。この論文では、人間の主観的意識が「局所的なエネルギー密度の波動干渉による可逆共鳴」であり、これが非線形場の構造として記述可能であることを示した。1953年には、ヒト

松本貴弘

(まつもと たかひろ)

1897年神戸市生まれ
理論物理学者
大東大学大学院で場の量子論を修めた後、人間の主観的経験を物理学で説明できるかという問いに取り組み、新分野「意識の物理学」を創始した。また、意識を「自己参照的な情報構造が物理場内で共鳴する現象」と定義し、独自論「共鳴的自己参照場理論(R-SET)」を確立。この理論は量子場のゆらぎと神経活動を結びつけ、意識の物理的発生メカニズムを初めて定式化。1960年、同分野の先駆者貢献によりノーベル物理学賞を受賞。

アメリカMITにおける講義の様子(1935)

脳内のニューロン活動と量子センサーをリンクさせた画期的実験を成功させ、理論が現実のデータと一致することを証明した。

授賞理由についてアカデミーは、「松本博士の理論は、従来は形而上学の領域とされていた「自己とは何か」という問いを、自然科学の文脈に回収した初の実証的試みである」と評価。「これは生物学、人工知能、倫理学にまで波及する学際的革命であり、アインシュタイン以来の知的跳躍」と賞賛した。

現在、松本博士の理論は、AIへの意識的構造の導入や、重度意識障害の診断技術など、多方面への応用が進められている。また、国内外の大学では新たに「意識物理学」や「仏学(ぶつがく)」という名の講座が開設され始め、若い世代の研究者からも大きな注目を集めている。

授賞発表後、博士は京都の研究所で記者団の取材に応じ、「意識の物理法則を明らかにすることは、自己と他者を結ぶ普遍的な言語をつくることでもある。この賞は出発点にすぎない」と静かに語った。

日本人のノーベル物理学賞受賞は2人目。政府関係者や各国の科学者からは、次々と祝意が寄せられている。意識という「最後の謎」を科学で読み解く時代が、今まさに幕を開けた。

人類史上初「意識の物理法則」を解明

並行日本新聞

1960年(昭和35年)
10月11日(火)

発行所
弁天舎
CENTEN PUBLISHING

info@parallel-nippon.jp

号外

並行日本新聞・号外は左記サイトでもご覧いただけます。
www.parallel-nippon.jp

8月27日(水)より開催の弁天舎特別企画・シモヒロヤス個展『パラレルニッポン』にて全ての号外新聞を展示予定です。

弁天舎 特別企画

HIROYASU SHIMO SOLO EXHIBITION

シモ ヒロヤス個展2025

PARALLEL NIPPON

2025 8/27 WED. - 9/7 SUN.

OPEN 12:00 - CLOSE 20:00

1960年に分岐し、未だ「昭和」が続くもう一つの日本。

それは天才物理学者が「意識」を解明したことから始まる歴史。その世界線を弁天舎という架空の出版社の視点からAIや映像を駆使して捏造する展覧会。

特設サイト/ www.parallel-nippon.jp

会場 日仏会館ギャラリー
東京都渋谷区恵比寿3-9-25

入場料/500円(未就学児無料)